

八多小中一貫の義務教育学校における特色ある教育活動について

◆急速にグローバル化、情報化する21世紀型社会において、社会の変化に対応しつつ、主体的に社会とかかわり、国際社会の形成者として必要な資質・能力を育成するという観点および2年間に渡る「英語を核にしたコミュニケーション能力の育成」をすすめてきた観点から

- ① 1年生から英語の授業を実施し、9年間を通じて子供たちの成長に合わせたグローバル・コミュニケーション力を身につける。
- ② 積極的にICTを用い、プレゼンテーション能力や、情報活用能力を高める。

◆学力向上の観点から

- ③ 新教育システム（4－3－2制）を実施し、小学校課程（5・6年生）から、中学校教員による教科指導を行う（教科担任制）ことにより、知的好奇心を刺激し、学力の向上・定着を図る。7年生に向けて徐々に完全教科担任制に移行する。
それに伴い5・6年生の授業時数の一単位時間を45分⇒50分へ変更 ※中学校課程に合わせる。

◆豊かな人間性を育む観点から

- ④ 9年間の幅広い異学年交流や世代を超えた交流で社会性・リーダーシップ・自己肯定感を育成する。

◆ふるさとを愛する子供たちを育む観点から

- ⑤ 1年生から9年生まで、探究学習として八多の魅力ある地域を学び、地域の協力を得て「主体的・対話的で深い学び」を実現する。